

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

8月31日現勢 組合員 8,690名
機関紙 5,303部
年金改善署名 42,995筆 07.7署名 11,133筆



神奈川県版 第238号 2008年9月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

秋の月間成功に向け心を一つにした交流集会



情勢を切り開く“数こそ力” この秋 神奈川 9000人の組織達成へ

役割に応える年金者組合に

安倍前首相に続いて福田首相も政権を投げ出し、国民からは無責任「朝日世論調査56%」との批判が集中しています。財界本位で進めてきた自公政権の「構造改革路線」が破綻した当然の帰結です。内閣府の7月末から8月にかけての世論調査では、4人に3人が社会保障制度に強い不満を持っていることが明らかになり、特に「年金制度」70%、「医療制度」56%、「介護制度」53%と高い不満が寄せられています。昨年の参議院選挙以来、政治が国民の意志によって動く情勢が高まり、最低保障年金制度の実現、後期高齢者医療制度の廃止は臨時国会で最大の山場を迎えます。社会保障制度の改善で、大きな力を発揮している年金者組合の役割はますます重要で「数こそ力」秋の仲間づくりの成功がカギです。

神奈川県本部の「秋の仲間づくり月間成功をめざす支部活動交流集会」が9月2日、横浜市中区で中央本部から篠塚多助委員長も駆けつけて開かれ、県下35支部の複数代表が参加しました。

- ① そのために自分たちが決めた目標を全支部が達成する。
- ② 各支部は県本部の「総合計画」に基づき「いつまでに1%を達成する」という中長期目標を設定し、それに見合う秋の目標を定める。
- ③ 同規模の支部は同

普段の生活の中で話しかけ 新しい人から人へ増やす

茅ヶ崎・寒川支部女性の会

交流集会では、9千人達成は今の社会情勢からみて当然のことと受けとめると、積極的な発言が続きました。
茅ヶ崎・寒川支部の藤田香代子さんからは、支部はかつて女性の会もななく鳴かず飛ばずの状態でしたが、春の一滴集会で篠塚委員長の民主主義は数に笑い顔に泣く。すべての道は年金者組合に通

歴史を変えるような運動

篠塚中央本部委員長 (要旨)



福田首相が突然辞任をしました。自公政権はにっちもさっちもいかないと追いつかれました。後期高齢者医療制度でも政府が突然方針を変えることは大変なことで、手直しをさせているのは我々の力です。私たちは年間6200人を増やして8万5700人に。支部も793支部になりました。この蓄積には定石があり、県本部、支部役員がしっかりと意志統一をすることが欠かせません。

者組合が核になって、後期高齢者医療制度の廃止、最低保障年金制度実現で、野党を結束させた力をよく見ているからです。全国各支部の地道な運動が世論を動かしています。
いまの情勢の中で私たちは2倍3倍のエネルギーを出し、歴史を変えるような年にします。それが秋の運動であり千載一遇の機会です。
後期高齢者医療制度で自公は一部で1年間の凍結と云いますが、2年目からは無制限に高齢者からしほりとる。これは絶対に許せません。
年金者組合は楽しい組織です。たくさんの方のサークルを作り、組や班をもとにして楽しみながらしっかりと目標を持って何となくやりぬくことが大切です。だれが何と云おうと年金を守り、高齢者の暮らしを守るのは年金者組合だけです。この組織を地域の隅々まで根を張り、育て大きく強くしていきます。

もうガンでできない!

なんとかして!!
年金
物価
年金

最低保障年金を
つくれ!

後期高齢者医療制度をやめろ!

10月16日(木)
高齢者はみんな集まろう!
日比谷野外音楽堂
神奈川から参加900人

楽しいサークル作り 経験交流集会を開く

交流集会 出席者から、県本部は支部に対して政治的課題や仲間づくりを中心として指導を下ろしていくが、支部は楽しい組織づくりに力を入れており、県と支部の間に意志の疎通が不十分。との指摘がありました。
楽しい仲間の輪を拡げるために増やすことと、高齢者の年金、くらしを守るために仲間を増やすことは車の両輪で、どちらも欠かせない大切なこと。県本部は9月22日(月)午後1時30分から横浜地域職業訓練センターで「サークル活動経験交流会」を開きます。豊富な経験を出し合ってください。

怒って目をむくステージ 元気な替え歌でアピール

川崎多摩支部女性の会

96年の第3回「さわやかな女性のつどい」に多摩支部は、寸劇「夢を見た」を見たタミさんで「デビュ」以来毎回、介護、年金、平和などその時々々の問題を扱った寸劇や群読で

注目されてきました。今回は何といつても後期高齢者医療制度、もうこれしかない。座付作者の私としては「十分過ぎるほどカタキ役がいるので、福田や舩添の仮面をかぶって楽しくやろう」など腹づもりもあつたのですが、1支部7分の壁にぶち当たり。そこで歌いやすい替え歌と生の声のアピールという構成に。

6月の世話人会に替え歌を提案。7月にはA B両案の台本を出し、自分

たちの目線の会話でのB案にいろいろ意見が加わって煮詰まりました。8月の世話人会に続く練習では、配役はなるべく前期の人に代替わりし、多くの人に呼びかけ、出演してもらうことにしました。

タイトルは「われらは瞶れる高齢者」「瞶」は見慣れない字ですが、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の中に「決シテ瞶ラズ」とあり、この詩を取り上げた「声」を出して読みた

いな／それが何より証拠には／力を合わせて立ち上がる／オー。川崎多摩支部 小林克子

（俳句）鶴見支部 深沢 経男
大事にで 一椀すすめ 冷麦茶
川崎麻生支部 阿部 和子
目を閉ずば 磯子の海の香と輝き
敗戦後戸板に並ぶ海草類
平塚支部 露木 茂子
亡き夫の背に声かけ墓洗う
平塚支部 高橋 福松
紅白に色競い合うさるすべり
平塚支部 坪井 稔恭
良く歩く足にごほうび白い靴

（川柳）旭支部 本間鈍根花
夏祭り過ぎて懐秋の風
秋風に誘われ登る里の山
横須賀支部 山田 良夫
実りあるエコ対策が欲しいけど
文明史見事演じた五輪式
旭支部 毛利やすひこ
老人が敵にまわって泡をく
戦場の悲惨を語らず古兵遊く

楽しく熱のこもった集会 年金・医療を訴える ……かながわ母親大会

かながわ母親大会は8月24日、海老名文化会館で開かれ、雨の中1300人が参加しました。今年の母親大会は午前中4つの分科会に分かれ、午後は全体会で記念講演となっていました。

全体会のホールを会場とした分科会は「たつの素子さん」の民話と踊りで、とてもよい声で、物語もすばらしかったです。そのあと14団体の分野の報告が行われました。

年金者組合の取り組みでは、年金支給を3カ月から2カ月にさせたこと。現在毎月支給を実現するように要求していることなどを話しました。

会場内の参加者は年金受給者が半数くらい



絵手紙と俳句の分科会
は、実際に絵手紙を書い

たり、俳句を作ったりしてとても楽しい時間を過ごしました。映画や健康トレーニングも会場いっぱい入り切れず、ホールの方に参加した人も多かったです。

記念講演は立命館大学平和ミュージアム安齊育郎先生のお話でテンポが早くユーモアにあふれ、時間を感じさせない内容で、私たちが毎日の生活の中で自然にだまされてしまっていることを具体的な例で話をされました。

大会は私たちが抱えるさまざまな要求を実現するために、熱のこもった話し合いと、楽しい行事もいっぱい、明るく希望に満ちあふれた集会でした。

大買多喜子

後期高齢者医療制度廃止 川崎で大きな9・15行動

後期高齢者医療制度廃止と社会保障費年2200億円削減路線撤回を要求して、年金者組合川崎支部協議会が中心となり、9月15日に「9・15敬老の日大行動」（同実行委員会主

催を、川崎市内の主要駅頭などで展開します。午前11時から川崎ラゾーナ、溝の口、登戸、新百合ヶ丘各駅頭で宣伝。午後1時30分からエポックなからは大会議室で決起集会を行います。

ほろ酔い会
仲間も増える
小田原地域支部

地域支部が始めた「ほろ酔い会」。仲間が通うお勤めの居酒屋を互いに紹介し、2カ月に1度集まって杯を片手に放談会。ママさんのサーブスにも

心がこもり、一杯入れれば話も弾んで楽しさ倍増。会費は割り勘で参加者も増えてきました。秋の一夜を和気相合で過ごしています。

天引きや高額保険料 高齢者いじめは認めない 広がる不服審査請求

「年金天引きや、高額保険料は年寄りのくらしをつぶすもので絶対に許さない」と後期高齢者医

療制度不服審査請求は急速に広がり、年金者組合神奈川県本部は7月30日の第1次集団請求に続いて8月29日、第2次集団請求を行いました。

この日は午前10時から建設プラザに直接請求行動に参加する組合員や、代理役員など85人が参加。抗議集会と書類の作成を行いました。

印鑑を何か所も押ししたり「法

午後1時半からは横浜市庁舎前の「くすのき広場」に、県社保協の仲間も加えて100人以上が結集し「後期高齢者医療制度廃止」「差別医療を許さない」「最低保障年金制度をつくれ」「社会保障の改善を許さない」など、オフィス街に響く元気なシュプレヒコールをしながら、県庁までデモ行進を行いました。

県庁前の集いで田島团长（県本部委員長）は「厚労省の担当が、この制度は高齢者に、自分たちがどれだけの医療費を使っているかをわからせるために作った。と云っているように、制度導入のねらいは医療制度削減と、



「天引きは許さない」不服審査請求319件に

10時から建設プラザに直接請求行動に参加する組合員や、代理役員など85人が参加。抗議集会と書類の作成を行いました。

印鑑を何か所も押ししたり「法

も含めて319件を、提出の代表7人に託し、県に提出しました。

9月18日 第三次行動
13時30分 県庁新館に



「高齢者の差別はやめろ」とデモ行進